

平成21年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
 2項 畜産業費
 2目 畜産振興費

畜産課(内線:7831)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 飼料米生産・利用 実証モデル事業 (農林業緊急プロジェクト)	7,310	0	7,310				7,310	
トータルコスト	16,424千円 (前年度 0千円)							
従事する職員数	正職員:1.10人							
主な業務内容	制度設計、周知説明、関係団体との協議、補助金交付事務							

事業内容の説明

1 事業の概要

水田の有効活用を図るため、調整水田及び不作付け水田を活用して、トウモロコシに代わる飼料原料として飼料米を生産し、家畜へ給与する仕組みづくりをモデルとして検証する。

2 事業内容

- 稲作農家が行う飼料米の作付け、調整、運搬、保管に対して助成する。
- 飼料米を給与した畜産物の有利販売に向けた取組に対して助成する。
- 飼料米の生産、給与実証に対する検証を行う。

◇モデルⅠ	配合飼料原料(広域流通)	飼料米の生産 → 調整・保管 → 配合・加工 → 畜産農家	(大規模耕種農家)	(飼料工場)	(大規模採卵鶏農場)
◇モデルⅡ	自家配合飼料(地域内流通)	飼料米の生産 → 調整 → 保管 → 畜産農家	(農事組合法人等)	(中規模採卵鶏農場)	

費用の内訳

(単位:千円)

区分	稲作農家の 所得確保	運搬・調整 保管経費	記帳手当	有利販売 活動費
モデルⅠ	500 (1ha)	150 (広域流通)	40 (2農場)	—
モデルⅡ	5,000 (10ha)	900 (地域内流通)	120 (6農場)	600 (定額)
計	5,500	1,050	160	600

合計 7,310千円